

■シリーズ■ 中学校武道

授業の充実に向けて 38

指導教本のねらいと活用のポイント 剣道 ①

(財)全日本剣道連盟
武道指導資料作成部会委員長
佐藤 義則

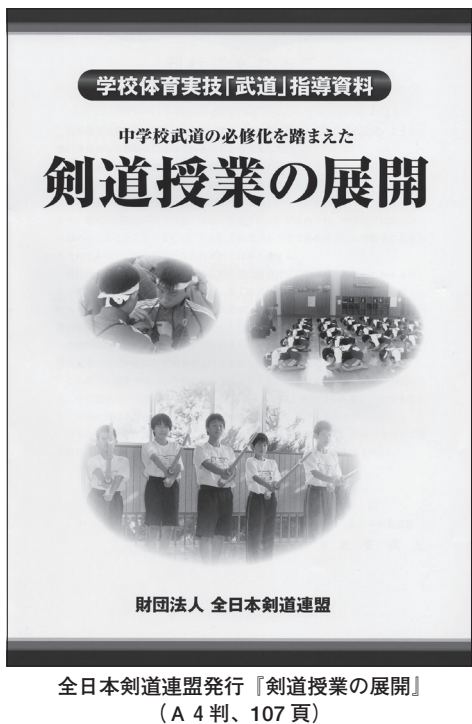
全日本剣道連盟（以下、全剣連）は、日本の剣道界を統括する団体として、我が国の伝統と文化に培われた剣道の普及・発展を図るとともに、心身の錬磨による人づくりと我が国社会の健全な発展に貢献することを目指している。そしてこの目的のため、年度ごとに基本方針並びに重点方策を定めて様々な事業を展開している。

1 教本作成にあたっての組織的背景

（1）中学校における武道必修化検討会の開催
全国の中学校数1万有余、その

の全ての中学校において体育を得意とする生徒はもちろんのこと、体育を苦手とする生徒や身体に障害のある生徒等、全員（中学1、2年生）が平成24年4月から武道の授業を必修として学ぶ。

そこで全剣連では、他の武道



学校体育実技「武道」指導資料

中学校武道の必修化を踏まえた

剣道授業の展開

財団法人 全日本剣道連盟

全日本剣道連盟発行『剣道授業の展開』
（A4判、107頁）

目次

- はじめに / 剣道の在り方
 - 教育基本法
 - 中学校学習指導要領「総則」「保健体育」（抜粋）
 - 中学校学習指導要領解説「保健体育編」（抜粋・要約）
- I 学習内容の取り扱い
 - 1. 学習内容、2. 学習内容の精選、3. 学年別学習内容（剣道具使用、剣道具のない場合）・学年別剣道技の系列表、4. 特性を踏まえた学習指導
- II 単元の計画
 - 1. 第1学年「初めての剣道体験」
 - 2. 第2学年「剣道の楽しさを知る」
 - 3. 第3学年「剣道の攻防の楽しさを知る」
 - ・【事例1】剣道具使用の場合
 - ・【事例2】剣道具のない場合—木刀による剣道基本技稽古法による指導—
 - ・手拭の着装・紐結びの練習
- III 授業実践例
 - 〈学習指導案〉
 - 1. 3年間の指導計画、2. 第1～3学年指導計画、3. 本時の計画
 - 4. 展開例「剣道具（面・小手）の着装と結束法、打突の仕方」
- IV 学習資料
 - 1. 図表資料
 - ・資料1 基礎・基本の定着を図る資料
 - ・資料2 基本動作の定着を目指す運動
 - ・資料3 竹刀（杖・棒）体操
 - 2. 学習カード、ノート
 - ・資料4 評価の楽しさを味わう「点検カード」
 - ・資料5 剣道具着装・竹刀安全評価表
 - ・資料6 わかる・できる「上達への道」—三要点—
 - ・資料7 木刀による剣道基本技稽古法と評価（基本1～9）
 - ・資料8 学習ノート
- あとがき

団体に先駆けて、平成20年3月、「中学校における武道必修化検討会」を立ち上げ、その対応を決議した。そして同年4月には、全剣連武安義光会長他が文部科学省に出向き、中学校で剣道の授業が円滑に行われるよう要望した。また、平成22年4月には、普及委員会の中に「学校教育部会」を新設するなど学校剣道への継続的な取組が行われている。全剣連以外の組織でもその動きはみられ、全日本学校剣道連盟では、平成20年8月、「中学校の武道必修化に伴う剣道指導への取り組み」を決議している。また、各都道府県学校剣道連盟に対して協力を依頼するなど、武道必修化に伴う様々な取組を進めている。

（2）『剣道授業の展開』の刊行

「中学校における武道必修化検討会」が立ち上がった翌月、平成20年4月に武道指導資料「剣道授業事例集」作成部会（以下、作成部会）が全剣連に設置され

た。主な目的は、剣道経験のない中学校保健体育科教員でも授業ができる指導案を示すこととした。構成員は、筆者を委員長として、文部科学省の武道推進事業における研究者や、先進的に学校体育での剣道授業研究を行っている者から6名が任命された。そして、作成部会内で検討を重ねながら、必修化に対応

した剣道授業事例集の刊行に向けて動き出した。その結果、平成21年4月、待望の武道指導資料『剣道授業の展開』（1万5000部）が刊行された。以降、各武道団体、各都道府県剣道連盟、さらには学校や道場等の講習会、研修会の指導教本として広く活用されている。

（3）中学校武道の必修化を踏まえた全剣連の事業計画

平成21年度、全剣連では事業計画の重点方策に「中学校における武道の必修化に伴う剣道に関する課題について検討する」が掲げられた。そこで作成部会では、多くの教育現場で『剣道授業の展開』が活用されるように事業を展開した。翌22年度の

事業計画でも、中学校武道必修化に伴う剣道の課題を検討して諸施策が立案され、作成部会の

事業はその推進を図るべく重点事項のトップ事業として展開され、23年度に引き継がれている。



中学校武道授業（剣道）指導法研究事業の様子

その他、全剣連は、日本武道館・日本武道協議会・全日本学校剣道連盟の三団体と連携を深め、中学校武道の必修化に伴う指導力の向上を願い、「中学校武道授業（剣道）指導法研究事業」や「全国剣道指導者研修会」などの事業を展開している。

2

教本の活用について

（１）教本作成に当たったの基本方針　くだれもが「わかる、できる」剣道授業の展開を

教育の使命はいかに時代が変わろうと「人づくり」にあると考える。教育基本法も、教育の目的は「人格の完成」を目指すこととしている。この原則をもとに、作成部会では、次の６つを基本方針として「剣道授業の展開」を作成した。

①平成20年3月に告示された学習指導要領で、平成24年度から

では、「剣道具使用の場合」、「剣道具のない場合（木刀の活用による剣道授業他）」を紹介し、様々な授業展開の例を示した。

②「Ⅱ単元の計画」では、授業時数を全学年10～13時間と想定し、特に、第1学年では「初めての剣道体験」として担当教員と指導協力者の指導上の留意点をあげ、1時間ごとの展開を例示した。また、生徒が自ら課題を解決することを学ぶよう、「技を習得するためにはどのようにすればよいのか」などを細かく記述した。

③「Ⅲ授業実践例」では、我が

中学校の保健体育科の授業に日本の伝統文化である「武道」が必修化されたことを踏まえる。

②全剣連が昭和50年3月に制定した「剣道の理念」（「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」）を踏まえつつ、剣道の稽古や試合を通して日本の伝統文化である剣道を正しく継承し、さらには、「人間形成」を醸成するという教育的な意義を伝える。

③「剣道の理念」が、教育基本法に示されている「教育の目的」と共通していることを踏まえ、剣道の指導を通して「心」と「体」を鍛え、「人間形成」を目指す。

④武道の特性ともいえる端正な礼の指導、他人を尊重し思いやる道徳心、技術指導を通じた体力・技術の向上などにより、生徒が忍耐力や社会的態度を身に付けられるようにする。

⑤今日、学校現場で子供たちが様々な課題を抱えている中で、武道の教育的価値が強く求められていることから、各委員が日

国の伝統と文化に培われた剣道を正しく伝承し、「剣道の理念」に基づく実践例を示した。

④「Ⅳ学習資料」では、体ほぐし、準備運動の仕方などを紹介し、コピーしてすぐに活用できるものにした。また、楽しい授業づくりのための学習カード・ノートなどの例や、生徒の興味・関心を高める図表資料を多く収録した。

（３）補助資料

効果的、効率的運用に当たっては、学習指導要領・同解説について理解を深めつつ、全剣連

結城城・祇園城・金山城・箕輪城…。城郭ファン必備のガイドブック誕生！

関東の名城を歩く 北関東編 茨城・栃木・群馬

峰岸純夫・齋藤慎一編 2310円

3県から精選した名城64を、豊富な図版で紹介。最新の発掘成果に文献による裏付けを加えて、詳細・正確に解説する。



金山城大手虎口(本書より)

歌舞伎から 江戸を読み直す

田口章子著 恥と情 「恥」と「情」をキーワードに、仮名手本忠臣蔵などの作品から人々の生き方を再現。忘れ去られた伝統を問い直す。 1890円

現代語訳 徳川実紀

大石 学・佐藤宏之編
小宮山敏和・野口朋隆

家康公伝 全5巻

●三河から関東の覇者へ

人質生活から大大名へと成長し、秀吉の死後の関ヶ原の戦い前夜まで。さまざまなエピソードを集めた、逸話編第一冊。(第3回配本) 2835円

歴史文化ライブラリー

すべての道は 平城京へ

321 市 大樹著 平城京へと集束していた幹線道路「七道」の、行き交う人・情報の動きや駅・伝馬制の成立過程を解明。その実像に迫る。 1890円

地図から消えた 島々

322 長谷川亮一著 中ノ島島、グランパス島…。まぼろしの島々の、誕生、から消滅、までの複雑に錯綜するミステリーを解きほぐす。 1890円

吉川弘文館

価格 税込
東京都文京区本郷7-2-8・Tel03-3813-9151
2011年版「出版図書目録」送呈

刊行の『剣道指導要領』『剣道講習会資料（「木刀による剣道基本技稽古法の手引き」収録）』『剣道文化講演会DVD』等も参考にしたい。また、全剣連普及委員会学校教育部会による、武道必修化に関する実態調査の内容をまとめた『中学校武道（剣道）に関する調査報告書』が平成23年3月に刊行（全剣連発行の月刊「剣窓」にも本年5月号から各調査結果を掲載）されているので、併せて活用していただきたい。

これらの資料をもとに、創意工夫のもと、それぞれの現場における諸条件を勘案され、楽しく、効果的な授業が展開されることを望んでいる。

県の教育委員会、剣道連盟、中体連・高体連の剣道専門部に無料贈呈したほか、教育関係からの購入もあり、初版第一刷はほぼ完売の状況である。現在、増刷の準備をすすめている。

本稿で紹介した本の購入申し込みに当たっては、左記問い合わせ先にご連絡ください。全剣連のホームページで直接ご購入いただくこともできます。

お問い合わせ先

全日本剣道連盟資料担当

電話 03-3211-5804

FAX 03-3211-5807

インターネットでのお申し込み

<http://www.zenkenren-shop.com>

書名と価格（税込）

『剣道授業の展開』・・・600円

『剣道指導要領』・・・2800円

『剣道講習会資料（「木刀による

剣道基本技稽古法の手引き」収録）』・・・500円

3 教本の頒布状況と
入手方法

なお、『剣道授業の展開』のこれまでの頒布状況は、各都道府

快適で安全な都市空間の創造をめざす …東洋実業グループ

- ビルディング・トータル・マネジメント
- 清掃等建築物の環境衛生管理
- 空調、電気、水系統等諸設備の運用、管理
- 警備、保安、駐車場管理
- 原子力セキュリティ及び施設メンテナンス
- 工場、ダム等のセキュリティ
- 案内、受付他料金徴集業務
- 公園等のグリーンメンテナンス
- ビルメンテナンス用ソフトの開発販売
- バイオ研究開発
- その他建築物の運用、管理に係る一切の業務



株式
会社

東洋実業

代表取締役 横田 正弘

札幌本社／札幌市中央区北六条西22丁目250番14東実ビル TEL(011)612-1911(代)

東京本社／東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル TEL(03)3345-0531

営業所／函館・室蘭・苫小牧・千歳・恵庭・小樽・余市・岩内・石狩・岩見沢・旭川
士別・富良野・占冠・帯広・北見・釧路・日高・遠別・深川・埼玉

海外事業／株式会社東洋実業マレーシア／東洋実業シンガポール PTE. LTD./東洋
セキュリティ&ビルディング・マネジメント（香港）LTD./